

臨床研修医募集案内

2027年度



まずは見学に 来てください。

現場を見れば、
すぐに分かります。

見学予約は
募集サイトから



研修詳細



動画



募集要項



新潟大学地域医療教育センター
魚沼基幹病院

一般財団法人 新潟県地域医療推進機構 魚沼基幹病院

事務部 総務課 教育研修推進係

〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐4132

Tel 025-777-3200(代) Fax 025-777-2811

📍 facebook.com/UonumaKikanHosp

📍 x.com/UonumaKikanHosp



強い幹を、ここで。

10年先の 幹を つくる。

魚沼基幹病院は、新潟県が設置し、一般財団法人新潟県地域医療推進機構が運営する病院です。病院に併設される新潟大学歯学総合病院魚沼地域医療教育センターと連携し、地域医療に貢献する医療人の育成にも力を注ぎます。



新潟大学地域医療教育センター
魚沼基幹病院

ここは、 地域医療の 最前線。

数字が示すのは、現場の密度。
症例も、役割も、偏りがない。

👉どんな進路にも、
応えられる土台がある。

研修医救急/手術経験数

年間救急診療数

約 **600** 件/人

年間救急車対応数

約 **260** 件/人

年間手術経験数

約 **120** 件/人

- 外科約50件
- 整形約40件
- 産婦人科約20件
- その他
- 呼吸器外科
- 耳鼻科
- 泌尿器科
- 腎臓内科などで+α

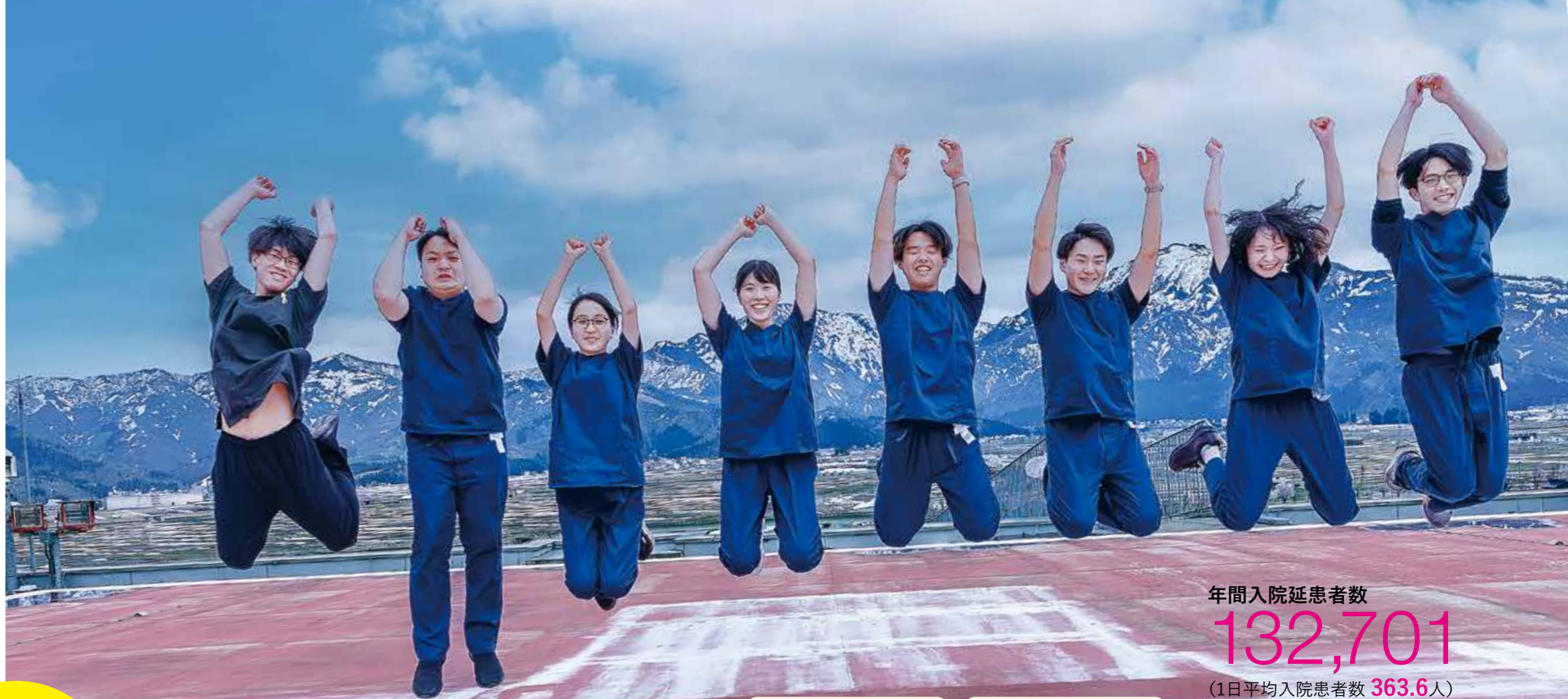
▼必修の症候/症例 達成率

入職1か月：約**50%**
入職半年：約**80%**
1年次終了時：約**100%**

▼経験すべき手技 達成率

入職1か月：約**40%**
入職半年後：約**90%**
1年次終了時点：ほぼ**100%**

数字以上に、
経験が濃いです。



年間入院延患者数

132,701

(1日平均入院患者数 **363.6**人)

年間手術総数

10,390

(うち手術室 **4,452**件)

年間救急件数

9,246

(救急車受入患者数 **3,866**件)

年間分娩件数

426

(病院実績データ R7年度)

200,016
年間外来総患者数

826.5
1日平均外来患者数



診療科

総合診療科、循環器内科、内分泌・代謝内科、血液内科、腎臓内科、リウマチ・膠原病科、呼吸器・感染症内科、消化器内科、脳神経内科、精神科、小児科、消化器外科・一般外科、乳腺・内分泌外科、心血管外科、呼吸器外科、整形外科、形成外科(※)、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科、放射線治療科、放射線診断科、麻酔科、救急科、リハビリテーション科、矯正歯科、歯科口腔外科、病理診断科
※現在診療を行っていません

ちょうどいいの、先へ。

トカイナカ、だからいい。

東京まで約90分。新潟市まで約30分。

都会も、スノボも登山も、思い立ったらすぐ

👉 集中するにも、続けるにも、
ちょうどいい。

この環境が、研修の質を変える。

3次救急、総合診療、地域医療。

臨床医として必要な経験が、ここには揃っている。

だから、最初に決めすぎなくていい。

進む道は、あとから選べる。

さらにこの研修は、固定された型ではない。

やりたいことに手を挙げれば、指導があり、環境がある。

強度も、自分で調整できる。

👉 自由に見えて、ちゃんと支えられている。

それが、この場所での研修です。



オンも、オフも、
本物がある。

ここでは、季節ごとに症例が変わる。

冬はスキーや雪下ろしの外傷。

春から秋は登山や農作業の事故。

日常の疾患も含め、症例は重なってやってくる。



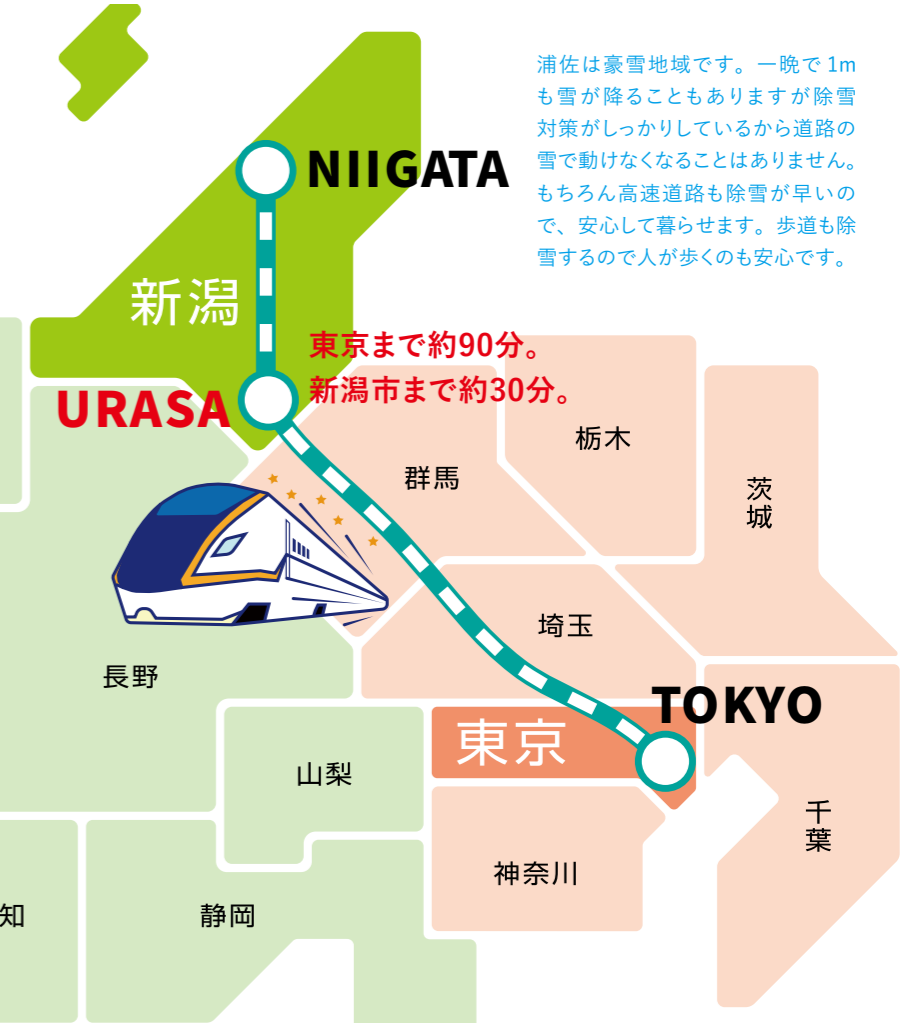
地域交流

▲「裸押し合い大祭」に参加、応援団も入れると50名以上が参加します。地元浦佐の一員としてがんばります!



地域交流

▲南魚沼の一大イベントとしてすっかり定着したグルメマラソンにおよそ60名が参加し、総勢5,000名超のランナーと走ります。



浦佐は豪雪地域です。一晩で1mも雪が降ることもあります。除雪対策がしっかりしているから道路の雪で動けなくなることはありません。もちろん高速道路も除雪が早いので、安心して暮らせます。歩道も除雪するので人が歩くのも安心です。

東京まで約90分。
新潟市まで約30分。

NIIGATA ⇄ URASA ⇄ TOKYO

近すぎない。遠すぎない。



尾瀬沼でトレッキング!



スキー・スノーボード!



魚沼は温泉天国!



安心の除雪対応!

ちゃんと暮らせることも、大事な。自然と都市機能が共存する環境。



幹が育つ、環境がある。

この研修は、決められすぎていない。
自分で考え、選び、動く余地がある。
やりたいことに手を挙げれば、指導と環境がそれを支える。
👉それぞれに合った成長の形を描ける。



研修医A先生

進んだ診療科→総合診療科

総合診療科を単独でもしっかり。更に内分泌、救急との並行研修でより深掘り。最後も総診で3年目以降もスムーズに!

- 整形外科
- 産婦人科
- 外科
- 外科
- 精神科
- 呼吸器内科
- 脳神経内科
- 腎臓原病内科
- 総合診療科
- 総合診療科
- 総合診療科

- 消化器内科
- 循環器内科
- 小児科
- リハ/整形
- 救急(麻酔科)
- 救急科
- 地域(南市民)
- 地域(南市民)
- 総診/内分泌
- 総診/内分泌
- 耳鼻科
- 皮膚科
- 脳神経内科
- 総診/救急
- 総診/救急

研修修了



研修医B先生

進んだ診療科→心臓血管外科

院内、院外で様々な科を選択できるからギリギリまで進路に迷っても大丈夫!

- 呼吸器内科
- 腎臓原病内科
- 脳神経内科
- 消化器内科
- 産婦人科
- 小児科
- 精神科
- 外科
- 外科
- 総合診療科
- 総合診療科

- 循環器内科
- 整形外科
- 消内/脳外
- 救急(麻酔科)
- 救急科
- 外科
- 地域(小出)
- 地域(小出)
- (新大)心臓血管外科
- 救急科(県央)
- 脳外科(新大)
- 泌尿器科
- 緩和ケア内科(がんセン)
- 総診/内分泌
- 総診/循環器
- 呼外科/脳外科

研修修了



研修医C先生

進んだ診療科→救急科

当院救急科で1次~3次までの幅広い症例経験。さら救急車受入れの多い病院でも経験。最後はあえて違う研修!

- 脳神経内科
- 呼吸器内科
- 腎臓原病内科
- 小児科
- 精神科
- 産婦人科
- 整形外科
- 耳鼻科
- 消化器内科
- 外科
- 外科

- 総合診療科
- 総合診療科
- 総診/呼外
- 呼外/泌尿器
- 放射線(新大)
- 救急(麻酔科)
- 救急科
- 救急(麻酔科)
- 救急科(県央)
- 放射線(県央)
- 地域(南市民)
- 地域(南市民)
- 循環器内科
- 救急科(県央)
- 総診/内分泌
- 内分泌/代謝内科

研修修了

研修医の出身大学

- | | | | |
|------------------|------------|---------------|----------|
| 新潟大学 | 福井大学 | 福島県立医科大学 | 東京医科大学 |
| 熊本大学 | 聖マリアンナ医科大学 | 宮崎大学 | 東北医科薬科大学 |
| 東京科学大学(東京医科歯科大学) | 北里大学 | 昭和医科大学 | |
| 上海交通大学 | ハンガリーセゲド大学 | ハンガリーデブレツェン大学 | |
| 千葉大学 | 香川大学 | 山形大学 | |
| 大阪大学 | 滋賀医科大学 | 東海大学 | |

協力型臨床研修病院

- | | |
|------------------------|----------------|
| 新潟大学医歯学総合病院(協力型相当大学病院) | 魚沼市立小出病院(協力施設) |
| 新潟県立十日町病院(協力型病院) | 小千谷総合病院(協力施設) |
| 立川総合病院(協力型病院) | 新潟県庁(協力施設) |
| 新潟県立基幹病院(協力型病院) | |
| 新潟県立がんセンター新潟病院(協力型病院) | |
| 南魚沼市民病院(協力型病院) | |



救急・当直

症例の数が、
そのまま
自信になります。

当直でも、一人じゃない。

救急は、病院全体で診る。

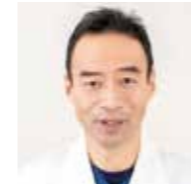
研修医2名+当直医3名。

各科の専門医がすぐ動く。

👉 迷ったら、必ず誰かがいる。

👉 だから、踏み込める。

指導医



地域救命救急センター長
山口 征吾

当院の救命救急センターとしては、こぢんまりとしていますが、多彩な症例が搬送されてきます。一つの科では完結しない症例が多く、他科や他職種との連携が必要です。そういった連携のやり方を実際に見てもらい研修医自らのコミュニケーション能力を向上させることができるのは、当院の魅力です。重症なのか軽症なのか。今後安定していくのか不安定な状況が続くのか。どのタイミングで各専門診療科に引き継ぐのがベストなのか。的確な判断ができるようにたくさんの症例を経験してってください。



先輩研修医Message

魚沼基幹病院に始めて来たのは5年生の夏でした。その時に救命救急センター長の山口先生に外傷のレクチャーをしていただいたのが心に残って、縁あって魚沼基幹病院で初期研修をすることになりました。はじめは違う科を志望していましたが、いろいろな科を回り様々な先生にご指導いただく中で、救急科に魅了され3年目からは救急科専攻医として新潟県内の病院で働くことになりました。

魚沼基幹病院のいいところは、老若男女さまざまな症例が経験できること、ハイパーにもハイポにも好きなペースで働けること、手技は十分すぎるくらいに経験できること、指導医の先生方が非常に教育熱心であることなど挙げればキリがないです。

一方、すべての科が揃っているわけではないので血液内科や心臓血管外科などを志望する学生にとってやや不便な点もありますが、他病院へ行くこともできるので大きな問題点ではないと思います。

また、上越新幹線の浦佐駅や関越道のインターが近くにあるので新潟市や東京へ出るのも困りません。さらに病院のすぐ横に宿舎があります。通勤にかかる手間がかからないのはとても有り難かったです。魚沼基幹病院で初期研修を過ごせば実りある2年間になると思います。ぜひ、魚沼基幹病院に見学に来ていただければと思います。

見学医学生アンケート



県外：女性

指導体制がよく整っており、研修医でも自分でできることが多く成長できるといった。三次救急の病院なので、様々な救急の症例を経験できるといった。



県外：男性

初期研修の自由度の高さや当直の制度、他の地域へのアクセスの良さ、病院全体の雰囲気などに魅力を感じました。



県内：女性

症例が多い、救急も最前線で学べる、共に学ぶ仲間の数がちょうどよい仲が良いと感じました。



県内：女性

指導して下さる先生方が熱心だから。挑戦してみたいことに挑戦させてもらえる環境だと感じた。



県外：男性

救急科では、集中治療を行っている様子や救急車で搬送されてきた患者様の対応を見学させていただき、幅広い症例が経験できそうだと感じました。総合診療科では、研修医の先生が担当の患者様を受け持っていていらっしゃる、ご自身で方針をお考えになっていたため、非常に力がつきそうだと感じました。

総合診療

どの科に行っても、
ここでの経験は
使えます。



答えが一つじゃない患者に、 向き合う。

複数の症状、複雑な背景。
一つの正解ではなく、
最適な選択を探す。

👉 “考える力”が、ここで鍛えられる。

総合診療科の受け持ち症例(例)

- 消化管穿孔、汎発性腹膜炎、誤嚥性肺炎
- 肺炎、偽痛風
- 重症肺炎、成人呼吸促迫症候群、エンドトキシン吸着
- MDS、心房細動/うっ血性心不全、慢性腎臓病、MDSに伴う関節炎と胸膜炎、消化管出血、再生不良性貧血
- 陳旧性心筋梗塞、大動脈弁狭窄症/うっ血性心不全、進行大腸がん、進行前立腺がん、進行膵がん、鉄欠乏性貧血
- うっ血性心不全、肺炎球菌性肺炎、尿路感染症、2型糖尿病、COVID19
- HIV感染症 など

指導医



総合診療科医長
丹下 明音

関東と当院で初期研修を行い、内科専門研修を積んだ後、再び当院に戻ってきました。現在は内科・総合診療科のダブルボードを目指しながら研修医の指導にあたっています。**初期研修で身につけた手技や臨床能力は、今の自分の土台になっています。**

当院の初期研修は「しっかり鍛えられて、ちゃんと休める」環境で、主体性を持ち、手を動かす研修です。卒業生として自信を持っておすすめします。当院で医師としての土台を作りましょう!



先輩研修医Message

初期臨床研修では多くの先生、スタッフの方々に大変お世話になりました。病院見学に来た日がつい最近のように感じますが、気づけば2年の月日が経っていました。様々な症例を経験する機会を頂き、至らぬ点多々ありましたが、多くの事を学ぶことが出来ました。同期にも恵まれ、**この病院で研修を行うという選択は私の人生では珍しく正しかったと感じています。**

引き続き当院の総合診療専攻医プログラムに参加させていただきます。これからもよろしくお願いいたします。

見学医学生アンケート



県外：男性

魚沼基幹病院は新潟県内で数少ない総合診療科がある病院で、総合診療科に興味があったため見学させていただき、とても良い見学をさせていただくことができました。研修医の方のお話を聞く機会も多く、初期研修の2年間でより実践的な力を身に付けられるという部分に魅力を感じました。



県外：女性

総合診療科、内科以外にも診療科が揃っており、選択で皮膚科なども研修することができることや、担当医として主体的に診療に携わることができることに魅力を感じました。



県内：男性

診療科が一通り揃っているところ。研修医の裁量権が大きく、2年間で力をつけられそうだと感じた。



県外：女性

自分の出身が首都圏ということもあり、首都圏の病院を見学していたのですが、首都圏では病院の機能が細分化されている印象を受けました。しかし、魚沼基幹病院では幅広く症例を経験できる点がとても魅力的に感じました。



県内：女性

研修医の先生がいきいきしており、研修医のことができることが幅広く、また人それぞれのやりたいことに合わせて研修内容を取り組むところに魅力を感じました。また人があたたかく、すれ違うスタッフさんがみなさん挨拶をしてくださり、とても明るい雰囲気を感ずりました。

地域医療

医療は、ここで終わらない。

退院後の生活、地域との関係。

医療は、病院の外にも続いている。

← 患者の人生まで診る視点が身につく。



毎日が、地域医療
そのものです。

指導医



臨床研修プログラム責任者
(新潟大学地域医療教育センター特任教授/
消化器外科・一般外科部長)

佐藤 洋

当院の地域医療は、一つの診療部門ではなく、疾患のみならず患者さんの生活背景や価値観まで含めた「全体像」を捉える医療だと考えています。

エビデンスやガイドラインを踏まえながら、一人ひとりの患者さんを深く理解することで、その方にとってより良い診療を提案し実践することを目指しています。日常診療や地域医療研修を通して、患者さん一人ひとりに真摯に向き合える医師になっていきましょう！

先輩研修医Message

当院での研修の一番の魅力は、医療を個別の患者からシステム面まで満遍なく体験できる次の3点だと思います。

1つ目は、患者層が広い点です。診療科、年齢、重症度のいずれも幅広く経験できる環境は地域の砦としての病院ならではの点です。救急外来では上級医の監督のもと、ウォークイン、救急車、小児科症例も研修医が初療に当たるため多様な症例を経験することができました。

2つ目は、裁量が大きい点です。内科系研修では主治医として治療方針の決定、患者・家族への説明などを行います。外科系研修では執刀医を担うこともあります。いずれも上級医の監督の下で行われますが、上級医に支えられながらも診療に対する責任を多めに持つことで、勉強にも身が入り、大きく診療能力が伸びたと感じました。

3つ目は、医療システムの見通しがよくなる点です。当院は「地域全体で一つの病院」というシステムを掲げています。魚沼地域は全国で進む地域医療構想に先駆けて、医療機関ごとの機能分化と連携を進めてきた背景があります。当院と密に連携のある病院で地域医療研修を行うことで、地域医療構想が目指す姿や、自身が急性期に診療した患者の回復期や慢性期の経過を把握することができたのは大変貴重な経験でした。また、選択研修を利用して新潟県庁で医療行政の研修も行うことができたのも大変学びの多い機会になりました。

このように、個別の診療経験と医療体制というマイクロ・マクロの両面から、学びを広げ深めることができる体制が当院には整っています。是非一度見学にいらしてください。

見学医学生アンケート

 県内：男性

魚沼地域の地域医療について触れることができるのみならず、基幹病院として急性期の患者さんにも対応して学びを深めることができるのが、魚沼基幹病院の魅力であると感じました。地域医療の総合診療科などに従事しながら、三次医療や急性期医療の分野についても学べる病院はあまりないと思うのでぜひ将来働いてみたいと感じました。

 県内：女性

魚沼基幹病院は初期研修の必修科目が院内に揃っていて、地域医療も宿舎から通える範囲で研修先を選択できるのが魅力的だと思います。また、教育研修担当の方々のサポートが他の病院に比べてとても手厚いと感じました。

 県内：男性

研修医1年目と2年目の方々が同じ部屋で待機するので、距離感が近く質問しやすいと感じた。また、スキー外傷やクマ外傷など魚沼の地ならではの疾病を診ることができることに魅力を感じた。

 県外：女性

魅力として、診療科が揃っている、病院がキレイ、地域のイベントがたくさんある、研修医が救急外来をファーストタッチでみられること、研修医室があること。

 県外：男性

手の骨折の手術を見学した時に先輩医師が若手医師に指導している様子が印象的で、ここで働きはじめたら成長できそうだと感じました。また、見学の案内してくれた若手の医師の方は楽しそうにしている、充実しているのが伝わってきました。

“自由”は、 あなたが育てる。

決められすぎていない。
でも、放置でもない。
自分で選び、動くことができ、
そのすべてを支える環境がある。

👉だから、この自由は“武器になる”。

研修医の一日

- 8:30 カンファレンス
- 10:00 外来／病棟
- 13:00 手術・処置
- 17:30 振り返り

やりたいことを、
やりたいと言える環境。

決められていないから、
自分で考えるようになった。

強くなりたい日も、
少し休みたい日も、ちゃんと選べる。

“やらされる研修”じゃない、
一番大きいです。

気づいたら、
自分で動けるようになっていました。

困ったら、
魚沼の“母”に
聞けば
大丈夫です。

迷ってもいい。でも、一人じゃない。

SNAPSHOT

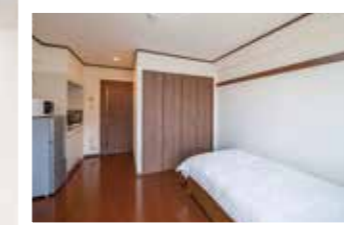


地域医療²×総合診療×救急医療×アカデミック

- 01 救急カンファレンス**
毎朝・救急科+総合診療科の合同情報共有。チーム医療の方針をここで決定。
- 02 外来診療**
総合診療科・小児科・外科で指導医のもと外来を経験。入院診療との違いを習得。
- 03 病棟回診**
各科の回診に参加。カルテではわからない患者の表情・声を直接捉える。
- 04 手術**
外科学研修では診療チームの一員として手術へ。実績に応じて手技を習得。
- 05 救急診療・日当直**
1年目から日当直で救急を経験。内科・外科・救急科指導医の直接指導のもとで診療にあたる。
- 06 臨床病理カンファ**
年2回、病理解剖をもとに臨床経過を振り返るCPCを実施。深く学ぶ機会。
- 07 学会・研究会発表**
内科経越地方会などで症例報告。1症例を深く掘り下げで完全に習得。
- 08 院内研修・症例検討**
ICLS・腹部エコー・ギブス講習などのセミナー。地域症例検討会にも参加。

3~4回発表する研修医も!

人気の宿舎



病院から徒歩1分の研修医宿舎(1K又はDK。家具・家電付・Wi-Fi完備)。
使用料:居室/月額15,000円
駐車場:月額5,000円



▼詳細はWEBへ



■募集要項(概要)
募集人数:1年次生 8名
募集方法:公募(日本医師臨床研修マッチングシステムに基づく)
選考方法:面接および書類選考
募集締切:令和8年8月31日
申込方法:まずは下記申込先へご連絡ください。
当院指定の申込書を郵送のこと。
(ホームページよりダウンロードできます)
申込先:魚沼基幹病院 総務課 教育研修推進係
TEL:025-777-3200 FAX:025-777-2811
E-mail:ukb-kenshu@ncmi.or.jp
▶ 詳細はWEBへ



基本給アップしたよ!

■待遇
給与:[1年次]
月額 計:528,000円程度 ※下記以外に各種手当あり
内訳/基本給:370,000円
時間外勤務手当:158,000円程度
(当直2回/月、日直2回/月を含む)
給与:[2年次]
月額 計:628,000円程度 ※下記以外に各種手当あり
内訳/基本給:440,000円
時間外勤務手当:188,000円程度
(当直2回/月、日直2回/月を含む)
▶ 詳細はWEBへ

